

## 試聴会・訪問記掲載

### 河口無線夏のオーディオ三昧報告(2019.8.11)

河口無線では、ゴールデンウィーク、お盆休み、年末年始の休日などに合わせてオーディオ三昧という催しを行っています。今回もお盆休みに合わせて夏のオーディオ三昧が開催されていました。

2019年8月10日～2019年8月18日

時間:PM1:00～PM5:00

【3F 試聴室】

#### <使用機材>

試聴対象は以下のシステムです。メリディアンの Ultra DAC による、持参した、オーディオ資料室収載のワーナーミュージックハイレゾ CD 名盤コレクションの [WM MQA-CD](#) の再生と [Universal Music の MQA-CD](#) を実施しました。



Ultra DAC の解説は下記にあります。

<https://www.hires-music.jp/products/ultra/>

<https://www.hires-music.jp/products/ultra/%E3%83%86%E3%82%AF%E3%83%8E%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%83%BC/>

【3F 試聴室】



当日のセッティング 1



当日のセッティング 2

- ・ HSP01 + HDSA01 (価格 : 2,500,000 円)
- ・ HCTR-CO + HEQA03-CI (価格 : 2,250,000 円)
- ・ HCTR-CO + HCVC01 (価格 : 1,400,000 円)
- ・ The Player Set (価格 : 3,500,000 円)  
(HCTR-CO + HEQA03-CI + The Player)



アキュフェーズ モノラルパワーアンプ M-6200 ¥1,944,000 (ペア)



アキュフェーズ プリアンプ C-2850 ¥1,382,400



アキュフェーズ SACD トランスポート DP-950 ¥1,296,000



アキュフェーズ D/A コンバーター DC-950 ¥1,296,000



ピエガ スピーカーシステム MASTER-ONE ¥6,264,000 (ペア)

【4F ホール】



メリディアン MQA 対応 DA コンバーター ULTRA DAC 販売価格¥2,700,000



ラックスマン プリアンプ C-900u ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900u ¥1,188,000



エソテリック SACD プレーヤー K-03XS ¥1,058,400



タスカム ワードクロックジェネレーター (0.01PPM) CG-1000 ¥183,600



クアドラル スピーカーシステム TITAN-9 (タイタン-9) ¥3,780,000



当日のセッティング 3

#### <試聴経過>

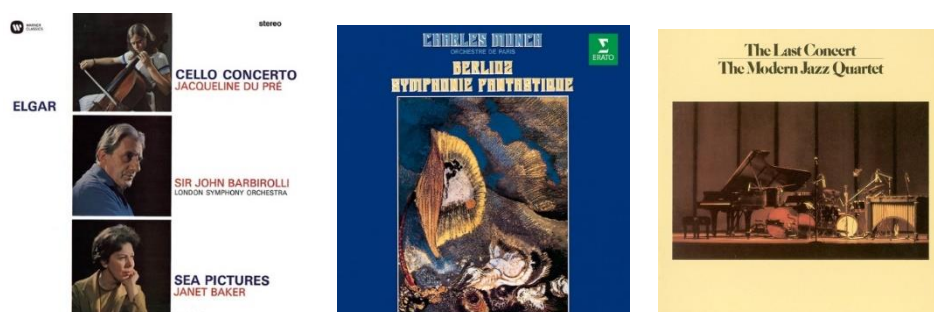
MQA-CD の再生は、3F のシステムではできませんので、4F のシステムで行いました。

ULTRA DAC の操作マニュアルは、[メリディアンのサイト](#)からダウンロードできますので、前以って読んだ際には、記載内容が不親切で分かりにくかったのですが、ショップの方で設定が完了しており、最小限の操作で事足りました。

なお、K-03XS には、CG-1000 から 44.1KHz のクロックを入力しています。



持参した MQA-CD は次のとおりで、[ワーナーミュージック](#)と [Universal Music](#) がそれぞれ3タイトルずつです。



ワーナーミュージック MQA-CD 再生時画面





### Universal Music MQA-CD 再生時画面

試聴は、ワーナーミュージックと Universal Music の MQA-CD それぞれ 3 枚ずつを比較試聴しました。

また、随時、DSP フィルターを 3 段階替えてみました。DSP フィルターの特徴は以下のとおりです。

DSP フィルター

3 種類のフィルター、フロントパネル/リモコンの DSP ボタンで選択可能  
44/48K など、ハイレゾ音源以外の音楽ソースで有効です

1) Long: ロングは急峻な時間応答性能が得られるフィルターでD/A変換で生じるプリエコーあるいは、録音やマスタリングのプロセスで生成されてしまったアーチファクトを除去し、アーチファクトが存在するソースで、よりマスターに近い音質の再現が可能になります。

2) Medium: ミディアムは、アーチファクトの除去と空間情報の再現とのバランスを両立させたポジションです。ロングとショートの間間的な位置づけです。

3) Short: ショートは、シンプルなステージ構成のフィルターで応答性はより緩やかです。クオリティの高い録音では空間情報をより豊かに再現し、最良の時間応答性能が得られます。

まず、ULTRA DAC の印象ですが、[河口無線メリディアン Model208 試聴報告 \(2019.3.3\)](#) で聴いた、同じメリディアンの Model218 と比べて、価格が一桁以上違いだけあって、音も格上です。

ワーナーミュージックと Universal Music の MQA-CD の比較では、Universal Music の方が、よりハイレゾでアナログに近づいた印象ですが、ワーナーミュージックの方は、PCM の音がより強く残っている印象です。

写真のように、ワーナーミュージックが 176.4KHz、Universal Music が 352.8 KHz の違いもありますが、前者の一次リマスタリングが 96KHzPCM であるのに対し、後者の一次リマスタリングが 2.8MHzDSD という違いも効いているように思えます。

DSP フィルターを 3 段階替えてみたところでは、Short では、HiFi 調でエッジが立ちすぎるようで、Long では、おだやかですが、音が鈍るようで、中間の Medium が、よりバランスが取れているように感じました。

#### <まとめ>

K-03XS と ULTRA DAC の組み合わせで MQA-CD の再生が可能であり、ワーナーミュージックと Universal Music の MQA-CD の比較や DSP フィルターの条件選択の知見が得られました。

近日中に、再度オーディオ仲間と訪問し、MQA-CD の再生とアナログの再生を比較試聴する予定です。

以上